



Be the ONE Sports News

“かけがえのない存在”たれ!

Be the ONE 羽衣国際大学
HAGOROMO University of International Studies

現代社会学部 現代社会学科
放送・メディア映像学科
人間生活学部 人間生活学科
食物栄養学科

〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1
TEL 072-265-7000 FAX 072-265-7005
https://www.hagoromo.ac.jp/

はごろもこくさい 検索

奮闘走

関西学生女子駅伝



過去最高記録をマーク

第30回関西学生対校女子駅伝(6区間30km)は2020年9月26日、神戸しあわせの村で行われ、羽衣国際大学の駅伝部は1時間47分59秒の過去最高記録で11位だった。

【成績】①1時間47分59秒

- 1区(3.9km) 今井①13分39秒
 - 2区(3.3km) 小谷①11分32秒
 - 3区(6.5km) 古田②22分28秒
 - 4区(6.5km) 岡 ②23分19秒
 - 5区(3.3km) 久須②11分54秒
 - 6区(6.5km) 宮山②25分07秒
- (丸中数字は区間順位)



1区 今井花笑
(食物栄養学科2年)

「タスキをもらって少しでも前に近づきたかったが足を引張ってしまった。もっと強くなり来年も2区を任せてもらえる選手になる」



2区 小谷彩乃
(食物栄養学科1年)

「満足した走りは出来なかったが、この悔しさを来年挽回するために、また1区を任せてもらえる選手になりたい」

【新年度目標】1500m 4分30秒、5000m 16分



3区 古田美月
(食物栄養学科3年)

「他大学との差を感じ、自分の力不足を感じたレースだった。怪我をしないよう体づくりを見直し、5000m 16分15秒を出して全日本インカレに挑戦。駅伝で全日本出場を目指す」



4区 岡奈津美
(食物栄養学科4年)

「最後の駅伝で悔しさはあるが、コロナ禍の中で大会が開催され、皆と走ることができたことが嬉しかった。管理栄養士国家試験の勉強を頑張る」



5区 久須優奈
(食物栄養学科3年)

「前との差を詰められず、

後ろから追いつかれ悔しい走りだった。この悔しさを忘れず、来年、リベンジしたい」

【新年度目標】3000m 障害で関西インカレ、西日本インカレ出場



6区 宮山碧唯
(食物栄養学科2年)

「他大学には全然力が及ばないので、もっと力をつけ勝負できるようにしたい。怪我をしないよう体づくりを心がけ、5000mで自己新を出す」

池田 亜由佳
(人間生活学科食クリエイトコース3年)

「来季は最後の年になる。5000mで自己新を出し、駅伝でアンカーを走り、チームに貢献したい」

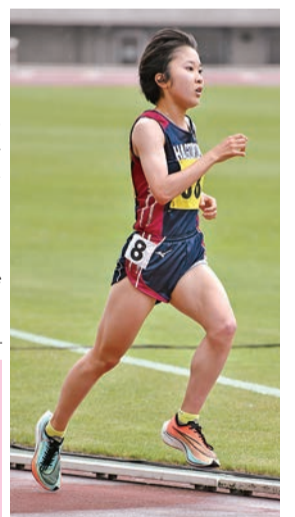
小川 愛夏
(食物栄養学科2年)

「3000m障害で関西インカレ、西日本インカレ出場。駅伝メンバーに入りたい」

小川 純奈
(食物栄養学科2年)

「3000m障害で関西インカレ、西日本インカレ出場。駅伝で姉(愛夏)とタスキをつなぎたい」

大阪選手権 古田が5000m優勝



にレースを進め、ラスト1000mで先頭に立ち、そのままゴールした。

7月にヤンマースタジアム長居(大阪市)で行われた陸上競技の大阪選手権。女子5000mで古田美月(食物栄養学科3年)が16分41秒66の自己新記録で優勝した。同3000m障害に出場した久須優奈(食物栄養学3年)も力走し、3位入賞を果たした。

【古田】先頭集団で積極的



左: 久須 右: 古田

【久須】目指していた関西インカレ参加記録には及ばなかったが3位入賞の快挙。

自己新で予選を突破

指す。

第97回関西学生対校選手権(関西インカレ)は2020年10月21・23日にヤンマーフィールド長居(大阪市)で行われ、女子1500mで今井花笑(食物栄養学科2年)が自己新記録で予選を突破。同日の決勝でも力走し、11位でフィニッシュした。

【成績】▽1500m予選

- 1組7着 小谷彩乃(食物栄養学科1年) 4分47秒28
- 3組4着 今井4分38秒59
- ▽同決勝 今井④4分40秒34

今井選手は自己ベストと羽衣歴代最高記録を樹立しました。小谷選手は自己ベストに近いシーズンベストの好記録でした。▽5000m決勝

⑩岡奈津美(食物栄養学科4年) 17分20秒66
岡選手は学生最後の関西インカレをシーズンベストで締めくくりました。

関西インカレ 今井が1500m決勝力走



今井

来年度は多数の参加標準突破者を輩出し、上位入賞者を出すことを目指す。

参加標準突破者を輩出し、上位入賞者を出すことを目指す。

大阪国際女子マラソン ネクストヒロイン選出



古田

2021年1月31日開催の第40回大阪国際女子マラソンのネクストヒロインに古田美月(食物栄養学科3年)が選出されました。創部以来初の快挙です。昨年行われた第1回関西学生ハーフマラソン4位入賞の1時間13分52秒が評価されました。



小谷

今井が関西学連選抜に選出

全国招待大学男女混合駅伝



今井 花笑
(食物栄養学科2年)

2021年3月21日に大阪市・長居公園内特設コースで開催予定の第1回全国招待大学対校男女混合駅伝競走大会の関西学連選抜チームに、今井選手が選出されました。同駅伝は関西の各大学に加え、男子が箱根駅伝に出場した東洋大、東海大、順天堂大、中央大など、女子駅伝チームも有する強豪の大学が集い、6区間20kmで争われます。今井選手の力走にご期待ください。

硬式野球部

希望と情熱を持って

2020 秋季リーグⅢ部3位 成長の一端が見えた



自信につながるシーズン

【評】秋季リーグ戦は6試合を戦い、2勝3敗1分で負け越した。

第1節の兵庫県立大学との初戦は1点リードで迎えた最終回に追いつかれて引き分けた。2戦目は5回まで互角に戦うも終盤に力の差が出て惜敗した。

第2節は優勝した神戸医療福祉大学戦。初戦は5回まで1対1と食い下がるも、6回の5失点が響いて敗戦。2戦目も5回まで1対1で粘りを見せるが、6回に6点を奪われ完敗だった。

第3節の東大阪大学戦は連勝した。上級生の活躍が光った。今季も大事な場面での守りのミスや与四死球が失点につながる結果となった。さらなる守りの強化が求められるが、中盤までは互角以上の戦いができたことは大きな自信につながった。また、2020年度もチームの競技目標を達成す

学生コメント



主将 大日方 英二 (3年)
(岸和田市立産業高校出身)

「秋季リーグ戦も、優勝の目標を達成することができず、取り組みの甘さを痛感しました。この悔しさを胸に冬季練習に臨み、春のリーグ戦では優勝と昇格の目標を達成したいと思えます。この敗戦を通じ、改めて日々の取り組みの重要性を感じることができました。」



副将 米地 大河 (3年)
(初芝橋本高校出身)

「秋季リーグ戦でも目標を達成することができませんでしたが、日々の大学生活と練習への姿勢を見直すきっかけになりました。」



主務 井上 拓哉 (3年)
(和歌山県立箕島高校出身)

「秋季リーグ戦では、チー

★表彰選手★

ることができなかったが、首位打者やベストナインを受賞するなど、来季へ大きな自信につながるシーズンであった。



大杉 伸野

●W受賞ノ首位打者賞 ベストナイン



投手 大杉 徹 (2年)
(育英高校出身)
打率 0.500 (リーグ第1位)



遊撃手 仲野 拓弥 (2年)
(大阪産業大学高校出身)
打率 0.455

●ベストナイン

【評】秋季リーグ戦では全試合に出場し、24打席16打数8安打1打点。リーグトップの打率5割をマークした。捕手としての送球能力の高さも評価をされてベストナインにも選出。主に3番打者を務め、強肩強打

【評】秋季リーグ戦は全試合に出場し、27打席22打数10安打5打点。積極果敢に挑む打撃スタイルが魅力で、首位打者賞を獲得した大杉徹の安打数を上回る活躍だった。守備に課題が残るが、なお進化を続ける巧打者である。

【談】このような素晴らしい賞に選出していただいたことをとても嬉しく思います。自分の実力では受賞することはできませんでしたが、指導者の方々や先輩方にアドバイスをいただいたこと、チームメイトの協力があったおかげで実力以上の結果を出すことができました。試合では自分のミスもあったので、これに満足することなく、来春のリーグ戦でも試合に出られるように、日々努力をしていきたいと思えます。

【談】このような賞をいただく光栄に思います。この結果を残せたことは自分だけではなく、日々練習をともにしてくれたチームメイトや応援をしてくださった方々のおかげだと思っています。個人の成績としては満足はできませんでしたが、チームの目標を達成できなかったため、現状に満足することなく、来春のリーグ戦に向けて、チーム一丸となって取り組みたいと思います。

その他の成績

第3回交流戦 (2020年11月)
(4大学1、2年生による交流戦)

- 5-2 大阪大谷大学
- 5-1 阪南大学
- 11-7 太成学院大学

羽衣国際大学が3勝で優勝
【優勝校】

- 第1回 阪南大学
- 第2回 羽衣国際大学
- 第3回 羽衣国際大学

[2020年度 硬式野球部のリーグ戦成績]

- ◆春季リーグ戦
新型コロナウイルス感染拡大のため中止
- ◆秋季リーグ戦
6戦2勝3敗1分 Ⅲ部リーグ3位

[2020年秋季リーグ戦 (一次)]

- 羽衣国際大△4-4 兵庫県立大学
- 3-7
- 1-6 神戸医療福祉大学
- 1-8
- 13-1 東大阪大学
- 11-10

リーグ戦順位の推移

	(勝敗)	(勝率)	(順位)
2017 秋Ⅲ部	3勝4敗1分	.429	4位
2018 春Ⅲ部	4勝4敗	.500	5位
2018 秋Ⅲ部	4勝5敗	.444	4位
2019 春Ⅲ部	6勝3敗	.677	3位
2019 秋Ⅲ部	3勝4敗2分	.429	4位
2020 春Ⅲ部	コロナ感染拡大のため中止		
2020 秋Ⅲ部	2勝3敗1分	.400	3位



大会に出場(ともにベスト4)。和歌山・初芝橋本高校のコーチとして、夏の甲子園大会出場。監督も務める。2016年秋に大学野球部の監督に就任。入試センターにて学生募集にあたる。

監督 伊丹 康治 (本学職員)

日本体育大学では、捕手として明治神宮野球大会、大学野球選手権

総監督 竹之内 雅史

神奈川・鎌倉学園高校では、内野手として春の甲子園出場。日本通運(社会人日本一)を経て、西鉄ライオンズ、阪神タイガースなどで主軸打者として活躍。引退後は阪神タイガース、DAIエーホークス、横浜ベイスターズなどでコーチ・二軍監督を務める。

部長 合澤 浩之 (現代社会学部教授)

早稲田大学出身

硬式野球部の指導方針

野球を通じて人間形成を図ります。学生の本分は勉強、学生野球の本分は練習です。公式戦も大切ですが、それよりも大切なのは日々の練習です。目指すは、

- 礼儀正しい大学野球部
- 文武両道を目指す大学野球部
- 高校より感動できる大学野球部
- 皆から愛される大学野球部

を創ること

決意

コロナ禍からの心機一転
バドミントンクラブ



2020年の総括と2021年に向けて

競技環境や支援への感謝を忘れずに活躍することを誓う。

キャプテン
福原 怜司 (現代社会学科3年)

2020年は新型コロナウイルスの影響により、思うように活動ができなかった1年でした。

昨年1月から大阪学生大会個人戦(3月)に向けて練習に取り組んでいましたが、残念ながら中止。その後も広がりを見せる新型コロナウイルスによる緊急事態

宣言の発令により、クラブ活動も停止期間となり、練習に取り組みない時期もありました。

私たち強化クラブであるバドミントンクラブは6月上旬から練習再開が認められました。

大会開催の目処が立っておらず、モチベーションの維持に苦労した部員もいました。そんななか、上級生を中心に、互いを鼓舞し続けな

がら練習に励みました。夏には交流戦という形で関西学連が大会を開催し、数ヶ月ぶりに試合に出場しました。

11月は1、2年生が対象の関西学生新人戦も開催され、改めて実戦の難しさや楽しさを感じました。

私たちが活動再開した頃、他大学ではバドミントン活動が出来ていない大学もありましたが、私たちは幸運なことに「練習ができ

元プエルトリコ代表選手と交流

パラバドミントン選手で、定期的に練習参加をしている正垣源選手からの紹介で、元プエルトリコ代表選手のリエル・フェルナデスさん(早稲田大学スポーツ科学研究科に留学中)が、日本各地のさまざまなバドミントンの活動状況調査のために本学を訪れました。



アリエルさん(前列中央)を囲んで

バドミントンクラブの学生たちと一緒にコートで汗を流し、大学生のプレールを体感したことで、意見交換もスムーズに行われました。

学生たちにはバドミントンをスタートした時期やジュニア期の試合形式などについて質問があり、活発な意見交換となりました。

リーグ戦昇格に挑戦するシーズンにしたい。

副キャプテン
日野あかり(食物栄養学科3年)

今年のバドミントンクラブの目標は、関西学生リーグで男子は3部上位、女子は2部上位、そして入替戦に挑戦できることを目指して日々練習に取り組んでいます。

昨年はコロナの影響により公式試合がほぼ無く、練習も思うようにできませんでしたが、引き続きコロナ対策をしっかり行い、チーム目標と個人目標に向かって、全員で頑張っています。



交流戦

アリエルさんからの Message

Hagoromo University of international studies is a mixed gender practice, and I am grateful that it was a wonderful time for me as KITA teacher and students welcomed me and freely discussed the issue of sports equality. 羽衣国際大学は男女混合の練習で、KITA 先生と生徒たちが歓迎してくれて、スポーツの平等の問題について自由に話し合ってくれたので、私にとっては素晴らしい時間となり感謝しています。

授業 専門スポーツでデモンストレーション

バドミントンクラブ監督の喜多准教授の授業「専門スポーツ(バドミントン)」に同クラブのメンバーとパラバドミントンのアスリート正垣選手が協力しました。履修生たちは、実際のコートで見る本格的なバド



3:3の実演

勝運に乗って 2021年も応援よろしくお願いします!

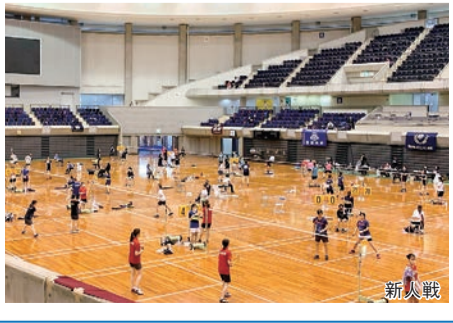


大鳥大社(堺市)へ初詣

3月8~10日	大阪学生選手権(個人戦) 団体戦は中止
4月末~5月上旬	関西学生春季リーグ戦(団体戦)
5月末~6月上旬	大阪総合選手権(個人戦)
6月上旬~中旬	関西学生選手権(個人戦)
8月末~9月上旬	西日本学生選手権(団体戦・個人戦)
9月中旬	関西学生秋季リーグ戦(団体戦)
10月中旬	全日本学生選手権(団体戦・個人戦) *出場権獲得が必要
11月	関西学生新人戦(個人戦)
12月	大阪学生選手権(団体戦)

大会成績 南里がベスト4 交流戦女SB

◆令和2年度関西学生オープン交流戦大会	男子シングルス	菅原(立命館大)
男子ダブルス	伊藤・成(成蹊大)	
女子シングルス	松本・高橋(甲南大)	
女子ダブルス	福原・石川(大阪大)	
◆令和2年度関西学生新人戦	男子シングルス	菅原(立命館大)
男子ダブルス	伊藤・成(成蹊大)	
女子シングルス	松本・高橋(甲南大)	
女子ダブルス	福原・石川(大阪大)	
◆2020年度中止の主要大会	男子シングルス	菅原(立命館大)
男子ダブルス	伊藤・成(成蹊大)	
女子シングルス	松本・高橋(甲南大)	
女子ダブルス	福原・石川(大阪大)	



新人戦

女子ソフトボール部

春秋リーグ代替の公式戦で1部リーグ校に勝利

躍動

関西学生女子チャンピオンカップ

Dreams are infinite!

～夢は無限大～



に1点を失点してしまい、1点差に詰め寄られた。

1点リードで迎えた最終回。今まで感じたことのない緊張感に戸惑ったのか、エラーもあり失点を許し、同点となった。

延長8回、タイブレークに突入した。8回表の攻撃で点を取ることができず、8回裏に適時打を許してしまい、負けとなった。

結果は敗戦だが、1部のチームを相手に接戦で戦えたことはチームにとって大きな前進であった。今大会で1点の重みを感じることはできたため、今後の練習では何事も「1」を大事に取り組んでいきたい。

決勝タイムリ

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、関西学生ソフトボール連盟主催の春季リーグに続き、秋季リーグも中止となったが、リーグ戦の代替大会として「関西学生女子ソフトボールチャンピオンカップ」が2020年9月7日～10日に開催された。

今大会はトーナメント方式であるものの、敗者復活戦が設けられ、少しでも多く公式戦ができるようにと配慮された。また、全日本大学選抜ソフトボール選手権大会の予選も兼ねていた。

1部リーグの武庫川女大と対戦した1回戦は、6回

タイブレークの末、惜敗

負ければ終わりとなる敗者復活戦では、再び1回戦で対戦したチームと試合をすることとなった。

初回はお互いに得点はなしてしまいが、4回表に2点を取って逆転。5回表にも1点追加したが、その裏



吉井 穂乃佳 (現社4年・四條畷学園高出身)

新キャプテン決意

「新チームになってから一部昇格を目標に、日々練習に励んでいます。コロナ禍で思うような練習は出来ていませんが、目標に向かって一人一人が自覚を持って行動し、主体性のあるチームを目指しています。応援よろしくお願いします」

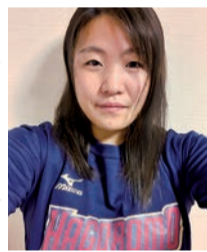
笑顔で“引退祝い”

4年生を送る会を開催



2020年11月22日、引退する4年生を送る会として、3年生が主体となった。チーム対抗リレーやぐるぐるバットなどの種目を実施。新型コロナウイルスの影響もあり、短い時間での開催だったが、チーム全員の笑顔が絶えない時間となった。

4年間を振り返って



堀井 万由 (食物4年・神戸野田高出身)

「主将を3年間務めさせていただきました。チームをまとめるということは初めての経験でたくさん失敗もしましたが、周りの方々に支えられて務め通すことができました。この4年間でたくさん経験を学ぶことができました。社会人になる不安はありますが、自分らしく頑張ります」



薦田 未蘭 (スポーツ4年・神戸野田高出身)

「私たちはソフトボール部2期生で、入学したときには試合ができるほどの人数はいませんでした。たくさんの方に助けられました。試合ができました。本当に感謝しています。私は卒業後もソフトボールを続けたいと思います」



新井 笑瑠 (現社4年・神戸常盤女子高出身)

「4年間を振り返ってみると、初めは人数が少なく、練習でもできる事が限られており、大変なことが多かったけれど、年々人数も増えていき、徐々に出来る事も増えていきました。仲間とのレギュラー争いは、悔しい経験もたくさんありました。羽衣ソフトボール部で4年間やりきることができて良かったです」



吉竹 絢香 (食クリ4年・羽衣学園高出身)

「全てが初めてのまま入ったので不安もありましたが、やってみると様々な体験や発見があり、自分にとってプラスになることばかりだったと思います。ソフトボール部のマネージャーとして過ごした4年間で得られたことを糧とし、次の場でも頑張っていきたいと思います」

和歌山合宿に続き、SG合宿も中止

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、例年12月に実施している冬季和歌山合宿、1月に実施のSGホールディングスとの強化練習合宿が相次いで中止になりました。

特にSGホールディングスとの合宿は、学生達が楽しみにしているイベントでもあったため、ギリギリまで実施を試みましたが、緊急事態宣言の発出とともに中止が決定されました。次年度の和歌山合宿及びSGホールディングス合宿は例年通り実施予定です。

ミニ運動会で思い出作り



第3回美羽会賞

強化クラブ4年生を表彰



羽衣国際大学同窓会「美羽会」による強化クラブ4年生を対象とした2020年度表彰式が、2020年12月22日に行われた。4つの強化クラブから、この1年で活躍した4年生が各1人選出された。表彰式はコロナの影響でプログラムが縮小されたが、美羽会のみなさんから心こもった表彰を受けた。表彰式の終わりには、硬式野球部で主務を務めた辻瀬崇博君（現代社会学科4年）が強化クラブの4年生を代表して御礼と感謝の言葉を述べた。

堀井万由(女子ソフトボール部)「このような素敵な賞をいただき、たいへん光栄に思います。この賞に恥じないように残りの学生生活も、強化クラブ生としての自覚と責任を持ち、学生の見本となるようにしていきたいと思います」



- [受賞者]
- 硬式野球部：辻瀬 崇博 (現代社会学科)
- 女子ソフトボール部：堀井 万由 (食物栄養学科)
- バドミントンクラブ：知念さつき (食物栄養学科)
- 駅伝部：岡 奈津美 (食物栄養学科)